

2つの音楽物語 ～オーケストラとのコラボレーション～

公演日 2015年2月14日(土) ①14:00 ②18:00
会場 全労済ホール/スペース・ゼロ

一部

3.11 を風化させないプロジェクト Vol.4 やなせたかしの「松の木の歌」4部作

「タペストリー絵本」の展示と稲垣美穂子が語る“やなせメルヘンの世界”



<その①>

「松の木の歌」

陸前高田の一本松さんと仲良しのポックリくん・カニ子ちゃん

やなせたかし氏が東北被災地の方々の思いや願いを、ヒヨロ松さん、カニコちゃん、ポックリ君に託した、感動のショートストーリー“松の木の歌4部作”のガラ公演



<その②>

「ガンバララバイ」

つぎ木四兄弟 ノビル・タエル・イノチ・ツナグたちに子守唄を唄うカニ子ちゃん。



<その③>

「ヒヨロ松と海坊主」

海坊主ザブリは砂1粒1粒を真っ白にみがきあげています。



<その④>

「ヒヨロ松さんは見習い天使」

天国に行ったヒヨロ松さんは“天使に見習い”の猛勉強中！休み時間にカニ子ちゃん・ポックリくんの所へ飛んできましたが・・・

二部

音楽物語「ピーターと狼」

プロフィエフが1936年4月に、モスクワに新設された中央児童劇場のナターシャ・サーツの示唆にもとづいて作曲したのが、この子供の為の音楽物語<ピーターと狼>です。それは、台本(英訳も含む)・作曲ともに彼自身の手になるもので、モスクワ・フィルの児童音楽会においてプロコフィエフ自身の指揮によって初演され、大好評を博しました。

オーケストラに用いられる一般的な楽器を、特定の人物や動物に結び付け、それを音楽として、またドラマとして発展させることによって、子供たちの音楽あるいはオーケストラに対する関心や興味を呼び起こすという目的を持ったもので、この期の彼の作風を投影した音楽が、親しみやすさを生み、また小編成のオーケストラであることによる演奏条件の容易さという利点を示しています。それにもかかわらず、音楽的な密度はかなり高く、楽器の効果が最大限に発揮されている点は見事です。なお、勇敢な少年ピーターが、小鳥の応援を得て狼をいけだりにして、動物園に連れてゆくという物語の筋書きは、皆さん良く御存じでしょう。

